

教育研究業績書

2023年10月23日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：高橋 美宝

研究分野	研究内容のキーワード
成人慢性看護学分野	炎症性腸疾患, Quality of Life, 外来看護
学位	最終学歴
修士課程	武庫川女子大学大学院修士課程修了

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1.1)炎症性腸疾患患者における麻疹・風疹。流行性耳下腺炎・水疱瘡についての一覧表	2017年1月	青山内科クリニックの看護師として炎症性腸疾患患者の麻疹・風疹。流行性耳下腺炎・水疱瘡についての症状、副作用、ワクチンの副反応などの情報を注意事項を一覧表に記載した。治療によって生ワクチンの接種が出来なくなるため、発症時や初回来院時に抗体価の測定の有無やワクチン接種の希望を確認する機会を設け、感染症の重篤化予防の啓蒙活動を行った。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.1)生物学的製剤（インフリキシマブ）のトラフ理論の検証・トラフ濃度と中和抗体について院内学習会開催	2015年4月20日	青山内科クリニックにて生物学的製剤（インフリキシマブ）のトラフ理論の検証を行うためトラフ濃度変動と中和抗体について症例検討を交えながら学びを深めた。
2.2)卒後2年目看護師の指導	2005年4月2006年3月	大阪医科大学付属病院の看護師として卒後2年目の看護師の指導担当を行った。看護技術の未経験項目の習得と把握、調整、アセスメント能力及び看護実践能力向上のために2～3月毎の面談を行い、その時期に応じた課題を提示し指導に関わった。
4 その他		

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.4) 内視鏡技師免許	2016年4月16日	
2.2) Health Care Assistant (Client /Patient Services)	2008年5月30日	
3.3) Aged Care Work	2008年5月30日	
4.1) 看護婦免許	2000年4月20日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.1)コーチ（プリセプター指導担当への指導）の経験	2018年4月2018年10月	青山内科クリニックの看護主任として1名の新入職看護師の指導担当のサポートに携わった。新入職者への指導方法や未経験項目の把握、調節、評価方法など指導担当者への助言を行った。
2.2)患者・家族会の開催	2018年3月	青山内科クリニックの看護師として炎症性腸疾患患者とその家族の疾患・治療への知識向上と日頃の悩みなど患者やその家族が共有できる場を設けた。開催後のアンケートには高評価を得ることができた。
3.3)プリセプター（新入職看護師）の経験	2017年9月2019年3月	青山内科クリニックの看護師・看護主任として2名の中途採用の新入職看護師の指導に携わった。未経験項目の把握、調節を行い半年間、毎月面談を行い技術習得や精神面のケアも行い指導に携わった。
4.4)患者女子会の開催	2015年3月7日	青山内科クリニックの看護師として炎症性腸疾患の女性患者を対象に患者会を開催し妊娠・出産体験のある代表患者に体験談を語ってもらい交流の場を設けた。患者女子会後にも患者同士の交流が続いて悩みを共有する関係を築けたと喜ばれた。
5.5)記録委員会活動	2003年4月2005年3月	大阪医科大学付属病院の記録委員会に所属し2年間産婦

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
6.6)プリセプター（新人指導担当）の経験	2003年4月2004年3月	人科病棟の看護計画立案やクリティカルパス運営、看護経過記録の向上に努めた。電子カルテ運営における病棟全体のマニュアル改善にも携わった。大阪医科大学付属病院の看護師としてプリ卒後1年目のプリセプターを2年努め3名の新人看護師の育成に関わった。新人看護師と共に学び直すことで、さらに知識を深め自分の成長に繋げることができた。
4 その他		
1.1)第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会優秀ポスター賞	2019年11月29日	「潰瘍性大腸炎における疾病負荷：QOLとうつ評価」発表に対して
2.2)IBD育成Project MS教育セミナー修了	2019年10月6日	日本炎症性腸疾患学会主催の育成ProjectMS教育セミナーを1日受講した。
3.3)炎症性腸疾患学会 MS教育セミナー修了	2018年11月23日	日本炎症性腸疾患学会主催のMS教育セミナーを1日受講した。
4.4)内視鏡機器取り扱い修了	2014年2月23日2017年2月12日	近畿内視鏡技師会主催の内視鏡聞き取り扱い講習会において消化器内視鏡機器に関する「原理、構造、維持、消毒、必要な修理など」取り扱い等に関する講義または実習を1日受講した。
5.5)消化器内視鏡医学講座修了	2014年2月23日2017年2月12日	近畿消化器内視鏡技師会主催の医学講座を1日受講した。
6.6)BLSヘルスケアプロバイダー修了	2013年10月29日	American Heart Association主催のBLSヘルスケアプロバイダーコースを1日受講した。
7.7)Senior First Aid, Workplace L2 certificate	2007年12月11日	オーストラリア、メルボルンのAustralian Red CrossにてSenior First Aidを2日間受講した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 外来通院する潰瘍性大腸炎患者におけるQuality of life 関連要因の探索とモデル構築	単	2021年3月	武庫川女子大学大学院看護学研究所	潰瘍性大腸炎患者203名を対象に日本語版Inflammatory Bowel Disease Questionnaire 32と Hospital Anxiety and Depression Soreとソーシャルサポートを用いて質的調査を行った。潰瘍性大腸炎患者のQuality of lifeへの関連要因についてパス解析を行った結果「治療の副作用の有無」、「Partial Mayo Score」、「Hospital Anxiety and Depression Soreの総スコア」の影響を認めた。心理的要因がQuality of lifeに影響を与えていることが明らかになった。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. Construction of an explanatory model for quality of life in outpatients with ulcerative colitis	共	2021年7月28日	The 16th congress of ECCO	潰瘍性大腸炎患者のQOLに影響を及ぼす要因とモデルの開発を行った。QOLへ最も影響を及ぼす要因は不安と抑うつである心理的要因で、疾患活動性や治療の副作用の有無、体調が悪いときの相談相手の有無も影響要因であることがわかり、その結果からモデルと構築した。本人担当部分：研究の全過程を担当 共同発表者：高橋美宝、布谷麻耶、青山伸郎
2.1)Disease burden of patients with inflammatory bowel disease from the viewpoint of QOL and depression	共	2020年2月12日	The 15th congress of ECCO (於Reed Messe Wien Austria)	疾病による負荷がQOLやうつ症状への影響を評価するため潰瘍性大腸炎200名、クローン病31名を対象に質問紙調査を行った。両疾患とも疾患活動性とQOL低下に有意な相関を認め、QOL低下要因は疾患、性別、疾患活動性により違いを認めた。本人担当部分：研究の全過程を担当 共同発表者：高橋美宝、青山伸郎、布谷麻耶
3.2)炎症性腸疾患における疾病負荷：QOLとうつ評価	共	2020年2月7日	第16回日本消化管学会総会学術集会 (於姫路キャッス	クローン病31名、潰瘍性大腸炎200名の疾病負荷におけるQOL、うつ評価を質問紙調査にて行った。結果、クローン病、潰瘍性大腸炎とも寛解期と活動期でQOLと有意な相関があり、潰瘍性大腸炎とうつ病

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
4.3)潰瘍性大腸炎における疾病負荷：QOLとうつ評価	共	2019年11月29日	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会（於ア クロス福岡）	と関連がみられた。本人担当部分：研究の全過程を担当 共同発表者：高橋美宝、青山伸郎、布谷麻耶 潰瘍性大腸炎200名の患者を対象にQOLとうつ評価を疾病負荷との関連について質問紙調査を行った。結果、活動期では寛解期に比べQOLが有意に低下しており、うつスコアも有意に高かった。QOL低下とうつとの間には正相関を認め、寛解期でも女性は男性より相関が強くみられた。 本人担当部分：研究の全過程を担当 共同発表者：高橋美宝、青山伸郎、布谷麻耶
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. UC患者の疾病負荷：これまでの研究結果と今後の計画について	単	2021年9月2日	第5回 兵庫IBD Total care Meeting	潰瘍性大腸炎患者のQOLに影響がある要因は心理的要因が最大であり、疾患活動性、治療の副作用の経験、サポートの有無も影響があることがわかった。今後、心理的要因とはどのようなものかを究明するために、患者ヘインタビューを行い、疾患に伴う心理的負荷を測定できる尺度開発に取り組む予定であることを発表した。
2. 看護師の立場からIBD患者のSDMを考える	単	2021年8月24日	武田薬品IBD医学教育会	SDMに関する基本情報の総括。日常的にIBD治療の補助を行う中、様々な背景を持つ患者との関わり通して、患者にとってのより良いSDMとは何かを悩みながら関わっている現状を事例を通して報告した。
3. QOL維持・向上に向けたクリニックでのSDMへの取り組み	単	2021年2月18日	IBD SDM WEB seminar（於ホテル・スイート神戸ハーバーランド）	S DMの概要と青山内科クリニックで行っている日々のIBD患者に対するライフステージに合わせた個別性に応じた対応と注意点について説明した。S DMを実践するうえでの課題と今後の展開について発表した。
4.1) IBD患者のQOL向上を目指したSDMの実践～IBD患者の存在ニーズを看護師としてどう引き出すか	単	2020年2月20日	Crohn' s Disease Web Seminar 1st Announcement（於神戸メリケンパークオリエンタルホテル）	多くの新薬が開発され患者自身が自分にあつた治療薬を選択する上で、患者が納得した選択を行うために看護師の専門的な支援が求められている。看護師として期待されている役割について、2例の患者の事例を基に日頃の患者との関わる上で心がけていること、患者の思いの引き出し方、受け止め方を発表した。
5.2)生物学的製剤について看護師の関わり	単	2019年10月19日	IBDメディカルスタッフセミナー（於TKPガーデンシティ大阪梅田）	新たに発売された生物学的製剤の違いや管理方法、使用上の注意点、作用、副作用、投与方法、急変時の対応、セルフケア支援や指導、患者との関わり方について具体的に実際の業務に活かせる内容を発表した。
6.3) IBD患者のSpecial Situationにおける当院での看護師の関わり	単	2019年8月19日	IBDメディカルスタッフ講演会（於琉球大学医学部附属病院敷地内沖縄クリニカルシミュレーションセンター）	看護師として高齢者の炎症性腸疾患患者への関わり方の注意点や妊娠・出産を踏まえて事前に準備できること、炎症性腸疾患を合併した妊産褥婦との関わり方や指導内容について、特定疾患の保険申請上の注意点をまとめて発表した。
7.4) IBD患者のSpecial Situationにおける当院での看護師の関わり	単	2019年3月7日	潰瘍性大腸炎診察Web Seminar(於武田薬品神戸支店会議室)	炎症性腸疾患患者のクリニックでの診療の流れや再燃、増悪等急変時の対応や治療選択における患者意思決定支援方法や女性のライフステージに応じた支援の変化について、看護師としての役割、関わり方を発表した。
8.5) IBDが心と日常生活に及ぼす影響-看護師としての関わり	単	2018年9月22日	第2回 兵庫IBD Total care Meeting（於ホテルオークラ神戸）	炎症性腸疾患患者（潰瘍性大腸炎200名、クローン病）が日頃不安に思っていることを独自に作成した質問紙調査を用いて調査した。寛解期の患者も活動期と同様に不安を抱き、特に男性よりも女性への支援の必要性を発表した。
9.7) Special SituationにおけるIBD治療とShard	単	2018年7月8日	IBDメディカルスタッフセミナー（於TKPガーデン	”ランチョンセミナーにおいて炎症性腸疾患患者の各ライフステージにおける支援内容は様々であり、事例を基に配慮すべき点や患者意思決定の支援における個別性に応じた方法を具体的に伝えた。治療

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
Decision Making			ンシティ博多新幹線口)	薬一覧表を用いて患者や家族の治療薬の知識向上に向けた支援や医師との連携の実際を発表した。
10.6) 周産期の看護：妊娠・出産期の看護師の関わり	単	2018年7月8日	IBDメディカルスタッフセミナー（於TKPガーデンシティ博多新幹線口）	発表担当：看護師としての役割について 共同発表者：青山伸郎 高橋 美宝” 炎症性腸疾患を罹患しても妊娠・出産・育児を寛解期を維持しながら行えるように看護師が行う支援や指導内容、必要な情報収集、再燃時、緊急時の対応方法について発表した。
11.9) 妊娠合併IBD患者の診察・Care	単	2016年9月17日	第1回 兵庫IBD Total care Meeting(於神戸ポートピアホテル)	安全に妊娠・出産・産褥期を迎えることができるように事前に準備出来ることを炎症性腸疾患患者への指導し、寛解期を維持できるような体調管理方法、異常時の対応、授乳・育児を行う上での留意点などを発表した。
12.8) IBD生物学的製剤導入に際しての留意点と看護師対応の実際	単	2016年1月26日	第10回 神戸無床内視鏡研究会（於ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド）	炎症性腸疾患患者が生物学的製剤を使用する前に行う検査や確認事項。実際に治療を開始するために必要な準備物品、薬剤管理方法、投与時反応時の対応を発表した
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1.2021年8月	西宮市保健所応援業務
2.2019年12月	European Crohn's and Colitis Organization
3.2016年4月	日本内視鏡技師学会